

# 【商業科・事務情報科】2年次【必修】科目「コミュニケーション英語Ⅰ」授業のシラバス

## 1 概要

|          |   |          |   |     |          |
|----------|---|----------|---|-----|----------|
| 教科名      | 外国語科  | 科目名      | コミュニケーション英語Ⅰ  | 単位数 | 3単位(117) |
| 科目の目標    | 英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする基礎的な能力を養う。根室高校 CAN-DO LIST の STAGE2 を目標とする。 |          |   |     |          |
| 教科書(出版社) | All Aboard! English Communication I (東京書籍)  | 副教材(出版社) | 書いて身につくパターン・プラクティス英文法ワークショップ(桐原書店)<br>コーパス1800 New Edition (東京書籍) |     |          |

## 2 学習の方法

### (1) 予習について

教科書の内容を元にして授業を進めていきます。予習として、単元の文法項目をチェックするなど事前に取り組んでください。「コミュニケーション英語基礎」でも学習した内容も出てきますので、予習というよりは復習を兼ねたものになります。「コミュニケーション英語Ⅰ」で新しく学習する内容も、もちろん、予習をしてから授業に臨むようにしてください。

### (2) 授業について

コミュニケーション英語Ⅰの授業では、英語の4技能(聞くこと・話すこと・書くこと・読むこと)を横断的に高めることを目的として学習をします。教科書の内容が中心となりますが、人の意見や考えを聞いたり、あるいは自分の考えを英語で発信したりするような活動もありますので、授業への積極的な参加が求められます。

### (3) 復習について

どの科目についても言えることではありますが、毎回の授業で学習した内容をその日の内に振り返ってください。それでもわからない場合はそのままにせず、教科担任(あるいは外国語科の先生方)に積極的に質問をし、必ず次のステップへ進むための準備を怠らないようにしてください。

### 〈学習アドバイス〉

英語は「実技教科」です。赤ちゃんが言葉を覚えることができるのは、その言葉を日常的に聞いて音を覚え、わからないなりに声に出して自分の意思を伝えようとするのを繰り返すからです。英語の学習方法には様々なものがありますが、コミュニケーション英語Ⅰでは、「インプットしたもの(学習した知識)を必ずアウトプットする(声や文字にして相手に伝える)」ことに重点をおいて、授業を進行させます。ですから、授業内で中心となる「書く」活動や「話す」活動に積極的に取り組むことで、みなさんの英語力は必ず向上します。間違ふことや恥ずかしいと思う気持ちを捨てて、仲間や先生方と楽しく英語を学習しましょう。

加えて、英語はもはや暗記教科ではありません。英単語には「イメージ」があります。スベルと意味を丸暗記するというよりは、イメージから意味を想像できるようになると、後に応用力が育まれ、幅広いレベルの英語に対応できる力を身につけることができます。まずは、あなた自身の英語の学習方法から見直してみたいはいかがですか？

## 3 評価について

### (1) 評価の観点

| 観 点                   | 趣 旨                                     |
|-----------------------|---|
| ① コミュニケーションへの関心・意欲・態度 | 積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ることができる。         |
| ② 外国語の表現              | 話したり書いたりして、情報や考えを適切に伝えることができる。          |
| ③ 外国語の理解              | 聞いたり読んだりして、情報や考えを的確に理解することができる。         |
| ④ 言語や文化への知識・理解        | 言語やその運用についての知識を身につけ、背景にある文化を理解することができる。 |

### (2) 評価の方法(以下観点①～④は「(1) 評価の観点」と対応する)

| 観 点                   | 評価材料 |     | 定期考査・確認テスト<br>実力テスト                          | Attitude | Lesson<br>Quiz | Individual<br>Work | Pair/Group<br>Work |
|-----------------------|------|-----|--|----------|----------------|--------------------|--------------------|
|                       |      | 割合  |  |          |                |                    |                    |
| ① コミュニケーションへの関心・意欲・態度 | ×    | 25% | 定期考査ではなく、授業内での取組、スピーキングテストやプレゼンテーションで評価をします。 | ○        |                | ○                  | ○                  |
| ② 外国語表現               | ○    | 25% | 自分の意見や考えを、「話すこと」と「書くこと」を通じて、相手に的確に伝えることができる。 |          | ○              | ○                  | ○                  |
| ③ 外国語理解               | ○    | 25% | 「聞くこと」と「読むこと」を通じて、相手の考えや意思を、適切に理解することができる。   |          | ○              | ○                  | ○                  |
| ④ 言語や文化についての知識・理解     | ○    | 25% | 英語が持つ言語的性質を理解し、英作文や英会話の際に適切に運用することができる。      |          | ○              | ○                  | ○                  |

### 〈担当者からのメッセージ〉

- ・授業中、学習と関係のない私語は厳禁です。
- ・定期考査は、授業で学習した内容から幅広く出題します。
- ・ライティングやスピーキングテスト、プレゼンテーションの評価の方法や基準については、授業の中で事前に周知をします。
- ・レポートや英作文等の課題が出された際には、提出期限をしっかりと守ってください。
- ・授業で使用する教材を忘れてきた者は、授業が始まる前に教科担任に申し出てください。

【商業科・事務情報科】2年次【必修】科目 「コミュニケーション英語Ⅰ」授業のシラバス

| 月        | 単元   | 時数 | 学習内容   | 観点別評価                  | 到達目標   | 考查等    |
|----------|--|----|--|------------------------|--|--------|
| 前期<br>4  | <b>Pre-Lesson1</b><br>My Name Is Kimura Yui            | 8  | 「コミュニケーション英語Ⅰを履修するにあたって」<br>●Be動詞の復習         | 全てのレッスンで①～④を総合して評価します。 | <各単元における評価の観点><br>① 演習・ペアワーク・グループワークを積極的な姿勢で行うことができる。<br>② 授業内での「話す」活動や「書く」活動、または定期考査において、学習した文法や表現を基に、自分の意見や考えを適切に表現することができる。<br>③ 授業内での「聞く」活動、または定期考査において、学習した文法や表現を基に、相手の考えや情報を的確に理解できる。<br>④ 授業内で学習した文法や表現を通して、英語という言葉の特性を理解できる。 | 前期中間考査 |
| 5        | <b>Pre-Lesson2</b><br>I Like Japanese Comic Books      | 8  | ●一般動詞の復習                                     |                        |  |        |
| 6        | <b>Lesson 1</b><br>This Is My House                    | 8  | ◎身の周りのことについて、英語で述べることができる。<br>●動詞の時制         |                        |  |        |
| 7        | <b>Lesson 2</b><br>My Favorite Hero                    | 8  | ◎好きな人について、英語で述べることができる。<br>●進行形              |                        |  |        |
| 8        | <b>Lesson 3</b><br>Cool Culture from Japan             | 8  | ◎日本文化について、英語で説明することができる。<br>●助動詞 can / will  |                        |  |        |
| 9        | <b>Lesson 4</b><br>A Miracle Mirror                    | 8  | ◎行ってみたい場所について、英語で述べることができる。<br>●to 不定詞       |                        |  |        |
| 9        | <b>Lesson 5</b><br>Finding My Future                   | 8  | ◎将来の夢について、英語で述べることができる。<br>●動名詞              |                        |  |        |
| 後期<br>10 | <b>Reading 1</b><br>Short Stories in English           | 8  | ◎短めの物語を読んで、内容を理解することができる。                    |                        |  |        |
| 11       | <b>Lesson 6</b><br>A Funny Picture from the Edo Period | 8  | ◎好きな絵や写真について、英語で述べることができる。<br>●受け身           |                        |  |        |
| 12       | <b>Lesson 7</b><br>Living on Ice                       | 9  | ◎環境を守るためにできることについて、英語で述べることができる。<br>●現在完了形   |                        |  |        |
| 1        | <b>Lesson 8</b><br>Building Trust in Space             | 9  | ◎理想の人物について、英語で述べることができる。<br>●it の用法          |                        |  |        |
| 2        | <b>Lesson 9</b><br>Pigs from across the Sea            | 9  | ●関係代名詞<br>◎社会をよくするために必要なことについて、英語で述べることができる。 |                        |  |        |
| 3        | <b>Lesson 10</b><br>I Am Malala                        | 9  | ●比較表現<br>◎長めの物語を読んで、内容を理解することができる。           |                        |  |        |
|          | <b>Reading 2</b><br>Alone                              | 9  | 計<br>117                                     |                        |  | 後期期末考査 |

※ 観点別評価①は関心・意欲・態度、②は表現する能力、③は理解する能力、④は知識・理解を表しています。

※ 授業計画は進度により前後することがあります。